

中学地理プリント（過去問類似）

北アメリカ州

名前

得点

/8

問1 アメリカ合衆国のカリフォルニア州、サンフランシスコ南部に位置し、半導体やソフトウェアなどの情報通信技術（ICT）関連企業が高度に集積している地域を何と呼びますか。（2024年 和歌山公立入試 類似）

1. シリコンバレー 2. サンベルト 3. デトロイト 4. シリコンアイランド

問2 北アメリカ大陸から南アメリカ大陸にかけての地形的特徴について、太平洋沿岸の山脈の名称と、それらが属する造山帯の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

1. 北アメリカ：ロッキー山脈、南アメリカ：アンデス山脈（環太平洋造山帯） 2. 北アメリカ：アンデス山脈、南アメリカ：ロッキー山脈（環太平洋造山帯） 3. 北アメリカ：ロッキー山脈、南アメリカ：アルプス山脈（アルプス・ヒマラヤ造山帯） 4. 北アメリカ：アパラチア山脈、南アメリカ：アンデス山脈（古期造山帯）

問3 1990年から2020年にかけての世界貿易の変化において、世界の輸出額および輸入額の合計に占める各国の割合（貿易シェア）の推移を説明した文として、正しいものはどれか。（2024年 山口公立入試 類似）

1. 中国は、高い経済成長を背景に世界の輸出額・輸入額ともに占める割合が大幅に上昇した。 2. アメリカ合衆国は、世界の輸出額に占める割合が上昇し、中国のシェアを大きく上回り続けている。 3. 中国は、世界の輸出額に占める割合は大幅に上昇したが、国内需要の低迷により輸入額の割合は低下した。 4. アメリカ合衆国と中国は、1990年から2020年にかけて、ともに世界の輸出額・輸入額におけるシェアを低下させている。

問4 北アメリカ州の五大湖沿岸に位置する都市デトロイトの、立地条件や産業の歴史について述べた説明として最も適切なものはどれですか。（2021年 東京都公立入試 類似）

1. 18世紀の建設当初は毛皮交易の拠点であったが、運河の整備を経て、20世紀には自動車工業が集積するようになった。 2. 18世紀から時計や医療機器などの精密機械工業が盛んで、アルプス山脈の豊富な水力を利用して発展した。 3. 南米のアンデス山脈に近い立地を活かし、古くからスズや銀などの鉱業資源を輸出する拠点として発展した。 4. 五大湖周辺の冷涼な気候を活かした酪農が盛んであり、乳製品を加工する食品工業が20世紀の経済を支えた。

問5 北米自由貿易協定（NAFTA）が締結されたことにより、加盟国であるメキシコの経済にどのような影響を与えたか、その背景を含めた説明として最も適切なものを選びなさい。（2015年 兵庫公立入試 類似）

1. 関税が撤廃されたことで、アメリカ合衆国の企業が安価な労働力を求めてメキシコに工場を進出させた。 2. カナダとの間で共通通貨が導入されたことにより、メキシコ国内の物価が安定し、農業の機械化が飛躍的に進んだ。 3. 域外の国々からの輸入に対して高い関税をかける共通関税制度が導入され、メキシコ独自の市場保護が強化された。 4. アメリカ合衆国からの工業製品の輸入が停止されたため、メキシコ国内の製造業が自立し、独自のハイテク産業が発展した。

問6 アメリカ合衆国における日系企業の進出状況について、業種別の拠点数や在留邦人数の統計をまとめた資料から読み取れる、日本の経済活動の大きな特徴として最も適切なものはどれですか。（2023年 兵庫公立入試 類似）

1. 自動車産業などの製造業を中心とした拠点数が多い 2. 農業や林業といった第一次産業の拠点数が最も多い 3. 石炭や鉄鉱石を採掘する鉱業の拠点数が中心となっている 4. 電気・ガス・水道業などの公共インフラ部門に特化している

問7 20世紀のデトロイトにおいて、自動車の製造コストを大幅に下げ、大衆への普及を可能にした生産体制の仕組みを何と呼びますか。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. 流れ作業による大量生産方式 2. 熟練工による手作業の受注生産方式 3. 最新のAIを用いた完全自動化生産方式 4. 部品を外部から調達しない自給自足型生産方式

問8 アメリカ合衆国における人口構成の特色について述べた文として、アフリカ系住民の分布状況を正しく説明しているものはどれですか。（2019年 熊本県公立入試 類似）

1. かつて綿花などのプランテーション農業が盛んだった南東部の諸州において、人口に占める割合が高い。 2. メキシコとの国境に近いテキサス州やカリフォルニア州などの南西部において、人口に占める割合が高い。 3. アジアに近い地理的条件を持つハワイ州や、西海岸の都市部において、人口に占める割合が高い。 4. 五大湖周辺の工業地帯から、サンベルトと呼ばれる北緯37度以南の地域へ一貫して移動・集中している。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 シリコンバレー	北アメリカ大陸の西海岸に位置するこの地域は、近隣の大学や研究機関との密接な連携を背景に発展しました。世界的なIT企業が数多く本拠地を置いており、現代の情報通信技術（ICT）産業を牽引する中心地となっています。
問2	答え 1 北アメリカ：ロッキー山脈、南アメリカ：アンデス山脈（環太平洋造山帯）	北米のロッキー山脈と南米のアンデス山脈は、いずれも各大陸の西側に位置しており、太平洋を囲む環太平洋造山帯を構成しています。アルプス山脈はヨーロッパに位置するアルプス・ヒマラヤ造山帯の一部であり、アパラチア山脈は北米東側のなだらかな古期造山帯です。各大陸のどの位置にどの山脈があるかを把握することが重要です。
問3	答え 1 中国は、高い経済成長を背景に世界の輸出額・輸入額ともに占める割合が大幅に上昇した。	中国は1970年代末からの改革開放政策を通じて「世界の工場」として発展し、2001年のWTO（世界貿易機関）加盟などを経て、世界の輸出額に占める割合を急激に伸ばしました。同時に、国民所得の向上や工業化の進展によって世界の輸入額に占める割合も大きく上昇しています。これに対し、アメリカ合衆国は依然として世界有数の貿易大国ではあるものの、中国などの新興国の台頭により、世界全体に占める相対的な貿易シェアは1990年時点と比較して低下傾向にあります。
問4	答え 1 18世紀の建設当初は毛皮交易の拠点であったが、運河の整備を経て、20世紀には自動車工業が集積するようになった。	デトロイトは北米五大湖付近という水運に恵まれた立地にあります。18世紀のフランスによる毛皮交易拠点としての建設に始まり、19世紀には運河によって東部との結びつきが強まりました。20世紀には、この立地と交通網を活かして部品や製品の輸送が行われ、自動車工業の集積地となりました。なお、精密機械はスイスのジュネーブ、鉱業はボリビアなどの説明で用いられることが多く、混同に注意が必要です。
問5	答え 1 関税が撤廃されたことで、アメリカ合衆国の企業が安価な労働力を求めてメキシコに工場を進出させた。	自由貿易協定によって輸出入の障壁がなくなったため、アメリカ合衆国の企業は生産コストを抑える目的で、賃金の比較的低いメキシコ国内に多くの組み立て工場（マキラドーラなど）を建設しました。これによりメキシコは北米の主要な工業製品の生産拠点としての役割を強めることになりました。
問6	答え 1 自動車産業などの製造業を中心とした拠点数が多い	アメリカ合衆国は日本にとって重要な経済的パートナーであり、世界でも有数の在留邦人数を誇ります。日系企業の進出状況を業種別に見ると、特に自動車産業をはじめとする製造業の拠点数が多く、現地での生産・販売活動が活発に行われているのが特徴です。これは、かつての貿易摩擦への対応や、巨大な消費市場である現地での需要に迅速に 대응するための戦略の結果です。
問7	答え 1 流れ作業による大量生産方式	フォード社などが導入したこの方式は、作業を細分化してベルトコンベアで製品を移動させることで、短時間で効率的に同じ品質の製品を大量に作ることを可能にしました。この「大量生産・大量消費」の仕組みは、その後の世界の工業化のモデルとなりました。
問8	答え 1 かつて綿花などのプランテーション農業が盛んだった南東部の諸州において、人口に占める割合が高い。	アメリカ合衆国のアフリカ系住民は、歴史的に奴隷として連れてこられた背景があり、労働力として必要とされた南東部のプランテーション地帯に多く居住してきました。現在でも、ミシシッピ州やジョージア州など南東部の諸州では、アフリカ系住民の割合が15%を超えるなど、他の地域に比べて高い傾向にあります。これに対し、南西部に多いのはヒスパニック（スペイン語圏からの移住者とその子孫）です。